

令和 5年度予算見積調書

課室名: 畜産安全課
 担当名: 畜産振興担当
 内線: 4193

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P31	スタートアップ! 卵肉いいとこどり開発事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費		
事業期間	令和3年度～令和7年度	根拠法令	養鶏振興法第18条			針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2	SDGsターゲット 2-3, 2-4	
1 事業概要 加工業務用需要の減少による全国的な卵価低迷が続く中、特徴ある鶏卵による販売力を強化するため、本県種鶏を活用したブランド採卵鶏を開発し養鶏振興を図る。 また、農業高校と連携し彩の国地鶏タマシャモ原種鶏の分散飼育を行い、鳥インフルエンザ発生時のリスクを回避する。 ア 卵肉いいとこどり開発研究事業 6,990千円 イ 卵肉いいとこどり供給販売推進事業 121千円 ウ 農業高校連携推進事業 559千円				5 事業説明 (1) 事業内容 県内養鶏農家の約8割の中小規模農家は、鶏卵を直接販売（庭先販売）しており、収益性の向上を図るためには、他との差別化が得られる特色のある採卵鶏の開発が求められている。そこで、彩の国地鶏タマシャモの種鶏を基に、採卵性に優れ、鶏肉としても利用価値のある本県独自のブランド採卵鶏を開発する。 また、農業高校と連携し、鳥インフルエンザ発生時のリスク回避のためのタマシャモ原種鶏の分散飼育を行い、タマシャモの維持を図る。 ア 卵肉いいとこどり開発研究事業 6,990千円 県の技術・種鶏を活用したブランド採卵鶏の開発 イ 卵肉いいとこどり供給販売推進事業 121千円 卵肉いいとこどりの供給販売方法の検討 ウ 農業高校連携推進事業 559千円 農業高校におけるタマシャモ原種鶏の分散飼育						
2 事業主体及び負担区分 ア (県10/10) イ (県10/10) ウ (県10/10)				(2) 事業計画 令和3年度～ 卵肉いいとこどり開発研究、供給販売方法の検討、タマシャモ原種鶏分散飼育、機械整備						
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果 卵・肉ともに利用可能な本県独自のブランド採卵鶏を開発し、他との差別化ができる高付加価値畜産物として活用されることで農家の収益性の向上が図られる。 さらに、分散飼育によって鳥インフルエンザからの危機回避が図られる。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 埼玉県養鶏協会と連携し、卵肉兼用ブランド鶏の生産拡大を推進する。 また、農業高校と連携してタマシャモの維持及び振興を行う。						
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		財産収入								
決定額	7,670	554							7,116	368
前年額	7,302								7,302	

事業内訳書

事業名	スタートアップ！卵肉いいとこどり開発事業		
単位事業名	卵肉いいとこどり開発研究事業	予算額	6,990千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	20	0	県内・県外旅費
需用費	5,672	3,228	開発研究用経費(消耗品、修繕費、飼料費、医薬材料費)
役務費	33	△265	郵券、種卵運搬費、初生雛鑑別料
備品購入費	1,265	△2,721	育雛器一式
合計	6,990	242	

単位事業名	卵肉いいとこどり供給販売推進事業	予算額	121千円
-------	------------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	68	0	県内旅費
需用費	20	0	事務用品費、資料印刷費
役務費	17	0	郵券

単位事業名	卵肉いいとこどり供給販売推進事業	予算額	121千円
-------	------------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	16	0	会議室借上料
合計	121	0	

単位事業名	農業高校連携推進事業	予算額	559千円
-------	------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	2	0	県内旅費
需用費	557	126	飼料費、医薬材料費
合計	559	126	